

(様式2)

平成30年度自己評価表

学校名 湯梨浜町立東郷小学校

校長名 谷口 章人

印

1. 学校の教育目標

人間性豊かな心と自ら考え正しく判断できる力を培い、心身ともに健やかでたくましい児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

めざす子ども像	(1) 自ら学ぼうとする児童 (2) 自分も友だちも大切にする児童 (3) 健康でたくましい児童 (4) ふるさを大切にする児童	めざす学校像	(1) 「自ら学ぶ力」を持つ児童を育てる学校 (2) 児童が安心してくらせる学校 (3) ふるさに誇りを持つ児童を育てる学校 (4) 地域社会と連携し、信頼される学校	今年度の重点目標	◎経営の重点 ・「自分の学びを高めようとする」児童の意欲向上をめざす学校 ・特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人の児童の力を伸ばしていく (1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の定着 (学びの力づくり) (2) 支え合い高め合う人間関係づくり (豊かな心づくり) (3) 健やかな体づくり (健康な体づくり) (4) 地域に根ざし開かれた学校づくり (地域との連携・活動の推進) (5) 新学習指導要領実施に向けた取り組み
---------	---	--------	--	----------	--

3. 年度当初の評価項目

評価項目		現状	めざす姿	具体的施策	評価方法
(1) 学上と確かな学力の向上	算数科を中心とした授業改善の推進	○学習課題に真剣に取り組む児童が多い。 ○児童相互に学び合い、教え合う姿が定着している。 ○自分の考えをわかりやすく相手に伝える力が十分ではない。	○筋道を立てて考え、自分の言葉で表現し、互いの言葉をつなぎながら伝え合い、理解を深めることができる。	○「筋道を立てて考える力」の向上をめざし、算数科における学び合いの活動を通して授業改善に取り組む。 ・図や式、算数用語などを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、伝え合ったりする学習場面を多く持つ。 ・一人一人の考えを全体で数学的に洗練する	○授業公開 (随時) ○授業研究 (全学級) ○教師アンケートの肯定的評価 ○学校公開アンケートの肯定的評価 ○県国語、算数診断テストの正答率

(様式2)

		○友達の意見をもとに思考・判断し、学びを深め広げたりする力が十分でない。		場を工夫する。(共通点、相違点、一般化等) ・既習事項を生かして見通しを持ち課題解決につなげたり、伝え合う活動を取り入れたりする学習過程を重視する。 ・全教職員が研究授業を行い、授業改善に努める。	○N R T 学力診断テストの正答率
	基礎学力(漢字○計算など)の定着	○基礎学力の定着が不十分で、自信が持てない児童がいる。 ○個人差が大きく、配慮を要する児童がいる。 ○家庭学習をしてこない児童が、固定化している。	○基礎基本的事項を身につけ、学んだことが活用できる。 ○家庭学習の習慣を身につけ、意欲的に自ら学ぶことができる。	○パワーアップタイムの時間を有効に使い、効果的な指導に努める。 ○個に応じた指導となるように、学習形態を工夫する。(T T, 少人数指導等の活用による授業改善)。 ○家庭学習の手引きをもとに、家庭学習が進められるよう、指導、啓発を行うとともに保護者との連携を図る。	○県国語、算数診断テストの正答率 ○N R T 学力診断テストの正答率 ○教師アンケートの肯定的評価・家庭学習、自主学習のチェックと評価
評価項目		現状	めざす姿	具体的施策	評価方法
(2) 支え合い高め合う人間関係づくり	自分も友だちも大切に作る温かい人間関係にあふれた学級づくりをめざし「学級力」向上の取り組みの工夫改善の推進	○生活や学習について、今の自分より少しでもよくしていこうとする意欲的な児童が多い。 ○自己有用感が低い児童がいる児童がいる。	○学級の課題を見つけ、みんなで解決していこうとする意欲と態度を持ち、お互いを高め合う学級づくりができる。	○学級力の向上をめざした取り組みを全学級で引き続き実施する。(話し合い活動の充実、アンケート・レーダーチャートの活用・振り返りの継続) ○hyper-Q Uの分析と活用の充実に努める。 ○話し合いスキルの向上に努める。	○児童アンケートの肯定的評価 ○hyper-Q U、質問紙調査の実施と活用 ○学校公開アンケートの肯定的評価
	特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人の児童の力を伸ばしていく	○相手の気持ちを考えた声かけや言葉遣いなどが少しずつできてきている。 ○自尊感情や社会性に課題のある児童がいる。	○豊かな心を持ち、命を大切にし、自分の生き方を考えることができる。	○温かい言葉かけや肯定的評価により、児童のよさや意欲を引き出す。 ○保護者、関係機関等と連携を密にしながら、個の課題に沿った対応と支援の充実に努める。 ○なかよし班活動の計画的実施と評価を行う。 ○スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等を活用した職員研修の実施	○学級懇談、個人懇談 ○特別支援教育委員会 ○特別支援学級や配慮を要する児童の保護者との懇談 ○児童アンケートの肯定的評価

(様式2)

評価項目		現状	めざす姿	具体的施策	評価方法
(3) 体健 づく りな	自分のめあてを持ち、継続して運動に取り組む意欲と安全意識の向上	○体育学習や業間運動などに意欲的に取り組む児童が多い。 ○好天の日でも校舎内で遊ぶ児童が多い。	○目標を持って体力づくりに励み、ともに伸びることを喜ぶことができる。 ○危険を防止したり、回避したりするための判断や行動ができる。	○体育学習や行事などで目標を持って取り組めるような指導に努める。 ○楽しく運動できる環境づくりを図る。 ○好天の日には外遊びを奨励する。 ○関係諸機関と連携を図り、効果的に避難訓練や安全指導を計画し、実施する。	○児童、保護者アンケートの肯定的評価 ○学校公開アンケートの肯定的評価 ○新体力テストの実施と分析
	望ましい生活習慣の形成	○多くの児童は、基本的な学校での生活習慣が身についてきているが、身につけていない児童がいる。	○自分自身の生活習慣を見直すことができる。	○保護者や学校保健委員会等と連携し、生活習慣の改善・確立を図る。 ○「明るいあいさつ元気よく・力いっぱい勉強・そうじは大事」をスローガンとし、基本的な生活習慣の定着を図る。 ○生活実態調査を実施、分析し、指導に生かす。 ○児童委員会の活性化に努める。	○児童、保護者アンケートの肯定的評価 ○職員アンケートの実施
(4) れた 地域 に根 ざし 学校 づく り開 か	学校・家庭・地域との連携の推進	○学習参観、学校公開等、学校の公開をしている。	○情報発信を積極的に行い、情報の共有ができる。	○学校運営協議会との連携 ○生活科、総合的な学習の時間での地域に学ぶ学習をととして、地域の中で育つ実感を持たせる。 ○学校だよりや学級だより、ホームページを活用した積極的な情報発信に努める。	○学校公開アンケートの肯定的評価 ○保護者アンケートの肯定的評価 ○各種たより等の発行
	学校支援ボランティアの活用	○読み聞かせ、登下校支援など定期的な活動、環境整備等に活用している。	○よりきめ細やかな指導や安心安全な学校生活のために、地域の力を活用できる。	○学校運営協議会との連携 ○活動についての情報発信を行う。 ○教職員や子どものニーズの把握と調整を行う。	○各種コーディネーターとの連携
(5) に 向 け た 新 学 習 指 導 実 施	新学習指導要領実施に向けた取り組み	○新学習指導要領実施に向けて、教科主任等を中心に職員研修を積み上げてきた。 ○水曜時程を変更し、新学習指導要領が求める時間数に対応するようにした。	○特別の教科 道徳、外国語科・外国語活動、その他移行措置内容の円滑実施とカリキュラムの点検・改善ができる。	○カリキュラムの完全実施と点検・改善（特別の教科 道徳の教科化、英語科・外国語活動、その他移行措置内容） ○「主体的、対話的で深い学び」についての研究の推進（他と関連づけながら） ○3学期当初には、来年度の取り組みを決定する。	○当該教科主任等の研修会への派遣と職員研修実施 ○研究推進委員会、企画委員会の開催